

中小企業景況調査報告書

(第 117 回)

平成22年 1 ~ 3 月期 実 績
平成22年 4 ~ 6 月期 見通し

平成22年 4 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成22年3月
- (2) 調査対象期間 平成22年1～3月期実績及び平成22年4～6月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	46	58	42	68	60	274
中規模	17	14	22	16	30	99
合計	63	72	64	84	90	373
構成比(%)	16.9	19.3	17.2	22.5	24.1	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 21社、建設業 29社、卸売業 9社、
小売業 20社、サービス業 41社、合計 120社

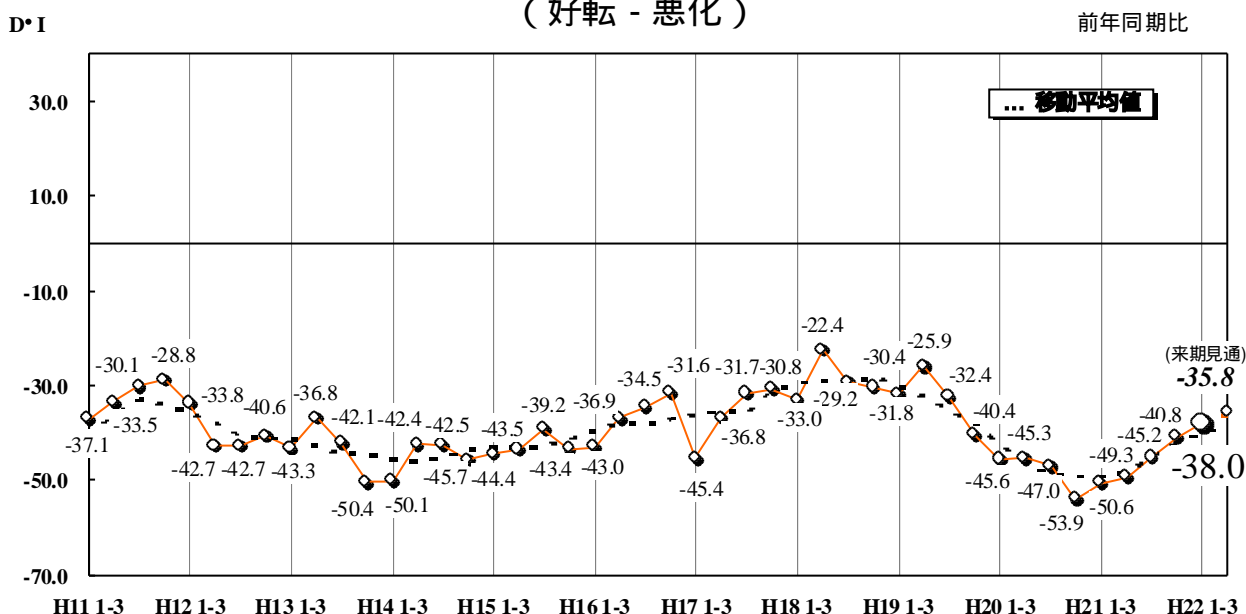
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

- 業況D・Iは小幅ながら5期連続で改善の動き -

業況推移（全業種平均D・I）
（好転 - 悪化）



今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（1月～3月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成21年1月～3月期の水準と比較した今期の業況）では 38.0、前期比（平成21年10月～12月期の水準と比較した今期の業況）では 45.9となっており、前年同期比では5期連続でマイナス幅が縮小している。

前回の調査（平成21年10月～12月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 40.8 今回 38.0とマイナス幅が縮小した一方で、前期比では前回 31.6 今回 45.9とマイナス幅が大幅に拡大した。

業種別では、前年同期比では、製造（前回 37.7 今回 38.1）、建設（前回 37.0 今回 37.5）、卸売（前回 32.4 今回 20.3）、小売（前回 52.4 今回 42.2）、サービス（前回 44.3 今回 51.8）と、製造業、建設業、サービス業でマイナス幅が拡大したのに対し、卸売業、小売業ではマイナス幅が縮小した。

業況を札幌市とそれ以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市では 39.7（前回調査 39.3）とほぼ横ばい、札幌以外の地域では 34.9（前回調査 42.5）と、札幌以外の地域でマイナス幅が縮小している。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成21年4月～6月期の水準と比較した来期の見通し）では、35.8とマイナス幅をより縮小する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」（製造業44.0%、建設業58.4%、卸売業66.0%、小売業30.2%、サービス業49.8%）が大きな要因となっている他、製造業では「製品加工単価の低下・上昇難」（16.9%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（20.3%）、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」（10.2%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（16.2%）、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」（10.7%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で8.8%と、前回調査時（13.8%）より5.0%下降、来期の新規設備投資の予定も全業種平均で9.3%に留まっており、総じて慎重な動きとなっている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 38.1（来期見通し 38.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成21年10月～12月期）時点からの推移では、前回 37.7 今回 38.1と0.4ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞による売上の減少や製品単価の低下・上昇難から採算悪化の声が多かった。

〔主なコメント〕

- ・デフレの影響で値下げを求められているが単価を下げるのも限界であり大変苦慮している。（製造業）
- ・低価格の輸入品は増加傾向にあるが、業界全体として厳しい状況。（家具製造業）
- ・受注の減少により売上・採算は悪化している。来期は原材料価格の値上げが打ち出されており厳しい状況。（紙製造業）
- ・製品単価の低下により売上は伸びず前年並みとなった。（食品製造業）
- ・売上は変わらなかったが、仕入単価が上昇したため、採算を圧迫している。（菓子製造業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 37.5（来期見通し 37.5）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成21年10月～12月期）時点からの推移では、前回 37.0 今回 37.5と0.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、22年度の公共工事予算の縮減を警戒する声が見られる一方で、住宅版エコポイント制度に期待する声もあった。

〔主なコメント〕

- ・補正予算により年度内までは仕事はあるが、新年度の発注は期待できない状況。（建設業）
- ・公共工事の大幅な減少が予想され、建設業界はさらに底に向かって悪化している。（建設業）
- ・地元の仕事が減少しているため、町外に仕事を求めている。（建設業）
- ・住宅版エコポイントの効果は未知数だが、住宅取得喚起となるよう期待したい。（建設業）
- ・業界として、太陽光発電システム・長期優良住宅先導的モデル事業・住宅版エコポイントに注目している。キャンペーン等も実施し、受注増を目指したい。（住宅業）

【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 20.3(来期見通 28.6)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成21年10月~12月期)時点からの推移では、前回 32.4 今回 20.3と12.1ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞、特に小売業の売上減少による業況の悪化を訴える声が多かった。

〔主なコメント〕

- ・消費の冷え込みにより、高額商品が売れず売上高が伸びない状況。年始における売り出しでも伸びず、季節的要因による需要拡大もあまり見られなかった。(生鮮食品卸売業)
- ・小売業の売上減少により取り扱い高が減少し業況は悪化した。(卸売業)
- ・売上減少によろやく歯止めがかかってきたが、低レベルのまま。(農畜産・水産卸売業)
- ・売上高は下げ止まりの感にあるが、それでも減少が続いていた前年程度に止まっている。国の新年度予算も公共事業予算、特に箱物に期待がもてず建築関連卸売業は先行きの見通しが立たない(卸売業)

【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 42.2(来期見通 30.0)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成21年10月~12月期)時点からの推移では、前回 52.4 今回 42.2と10.2ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、個人消費の低迷などによる売上の減少を訴える声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・消費者の購買力は低下しており、売上は減少している。先行きも不透明である。(商業)
- ・近隣人口の減少、高齢化による購買力の低下、デフレによる商品単価の低下、及び客単価の低下により売上は減少した。(小売業)
- ・地上デジタルテレビの販売により売上は上昇したものの、その需要も頭打ち状態。先行きは不透明な状況にある。(家電小売業)

【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 51.8(来期見通 45.0)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成21年10月~12月期)時点からの推移では、前回 44.3 今回 51.8と7.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞、消費者ニーズの多様化、客単価の低下による売上の低下、採算・業況悪化を訴える声がみられた。

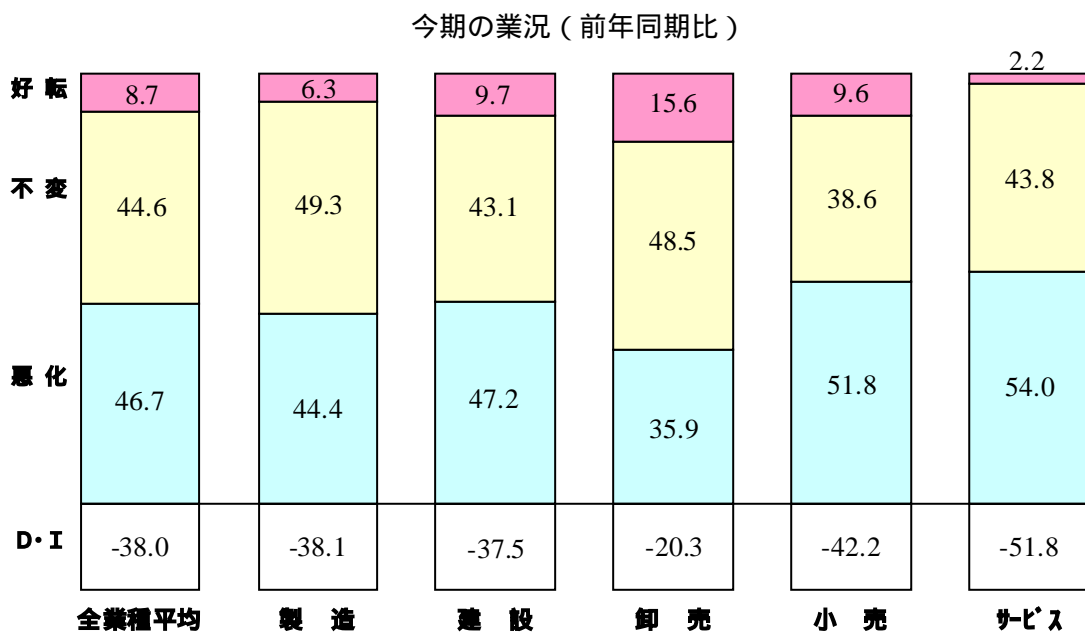
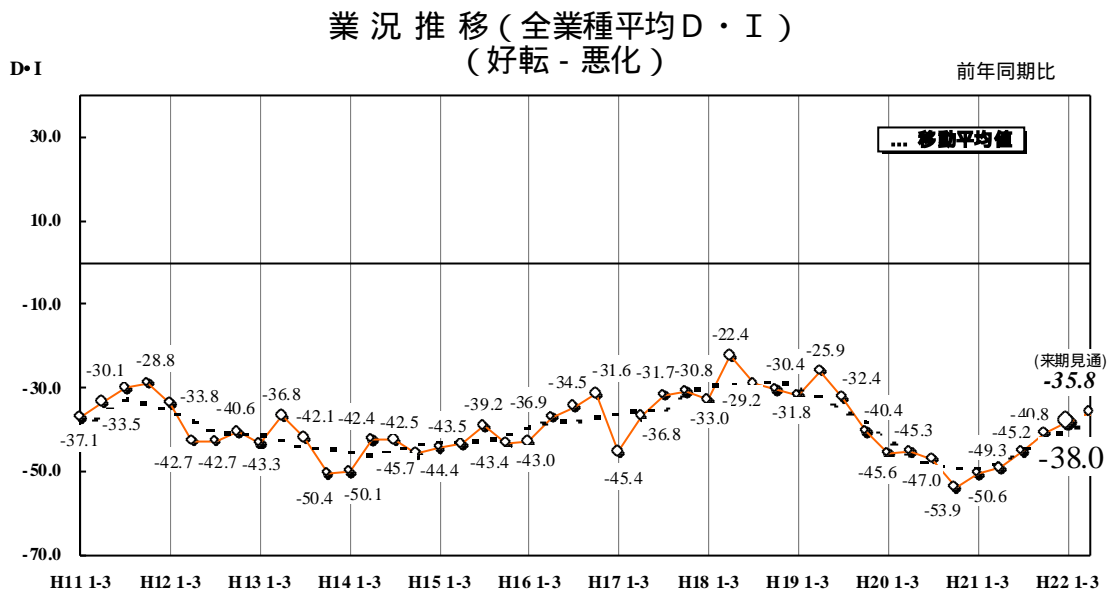
〔主なコメント〕

- ・航空機の減便で入込客数が減少、消費マインドも低調で観光施設への影響がでている。(観光業)
- ・厳しい経済状況が続いている中で、個人消費は伸びず、雪まつりも繁華街店舗はほとんど恩恵を受けることなく、売上が伸びなかった。歓送迎会シーズンでは前年並みの売上を確保できるか不安な状況(飲食業)
- ・3月は業界にとって繁忙期だが、年々売上は減少している。今後売上の増加要素はなく前年度維持ですら難しいと思われる。(自動車整備業)
- ・理美容大手のチェーンの進出で顧客が奪われ売上が減少している。価格で対抗することがかわず、打つ手がない。(理容業)
- ・外国人観光客(主に香港・マカオ)の増加により売上が増加。特にニセコ方面へのレジャーが好調である。(レンタカー)
- ・今年の2月は、上旬の雪まつり、中旬の旧暦の旧正月、下旬の冬季国体と市内の宿泊者の入込みが順調に推移し、市内ホテル全般では稼働率を高める結果となった。(宿泊業)

1. 今期の業況

(1) 今期の業況

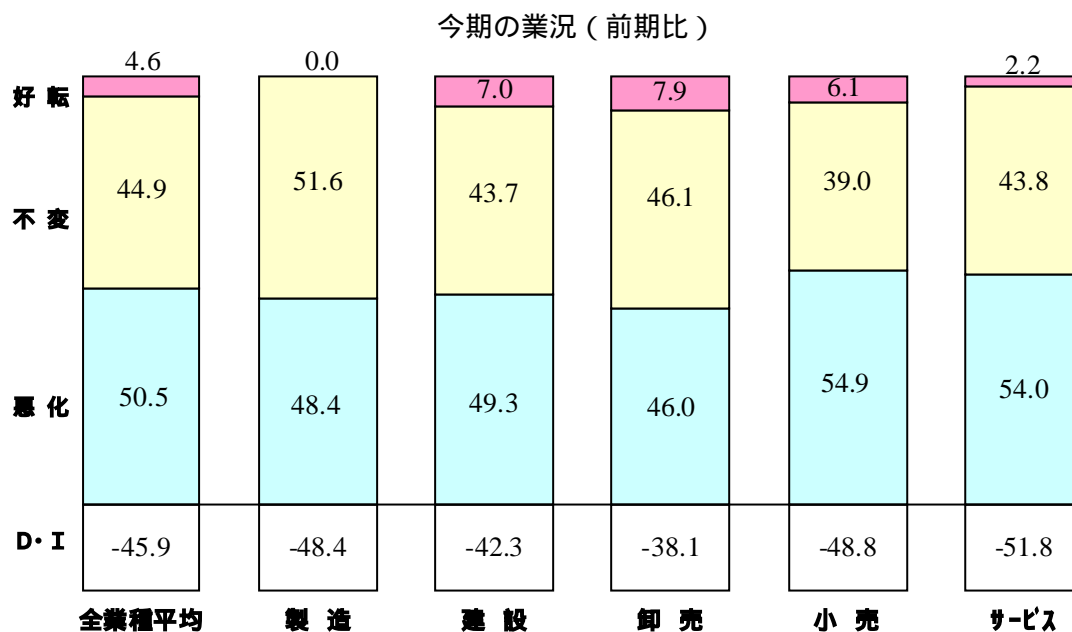
【前年同期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **38.0**〔前回調査時（平成21年10～12月期 40.8）より2.8ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 37.7 38.1〕、建設〔前回 37.0 37.5〕
卸売〔前回 32.4 20.3〕、小売〔前回 52.4 42.2〕
サービス〔前回 44.3 51.8〕

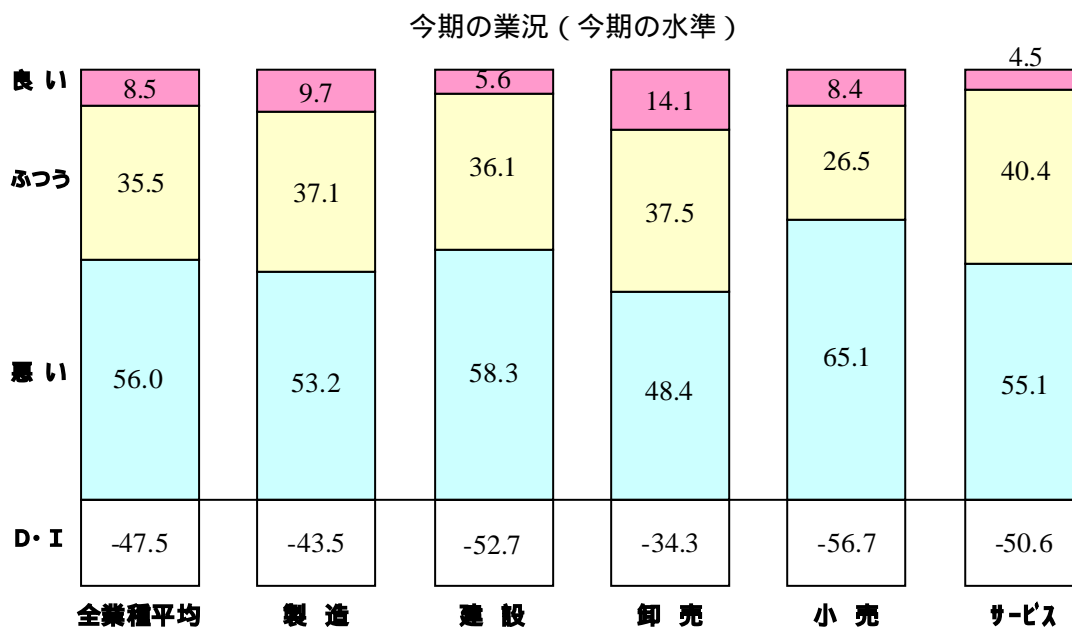
【前期比】（平成21年10～12月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **45.9**〔前回調査時（平成21年10～12月期 31.6）より14.3ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 26.3 48.4〕、建設〔前回 18.3 42.3〕
卸売〔前回 28.5 38.1〕、小売〔前回 44.5 48.8〕
サービス〔前回 37.9 51.8〕

【今期の水準】

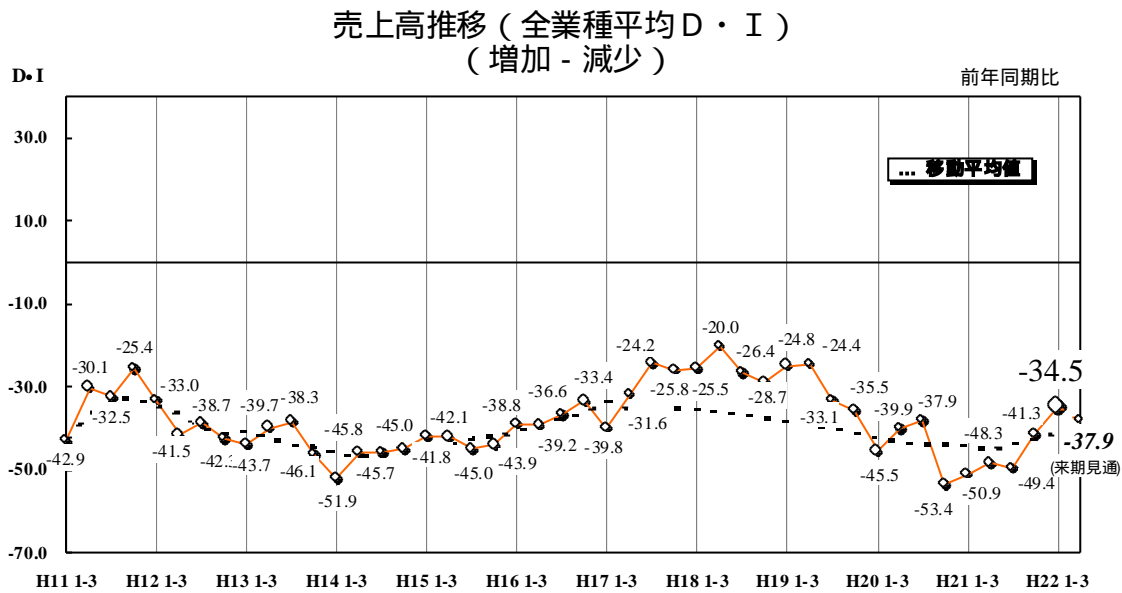


全業種平均でD・I値 **47.5**〔前回調査時（平成21年10～12月期 45.9）より1.6ポイントマイナス幅が拡大〕。

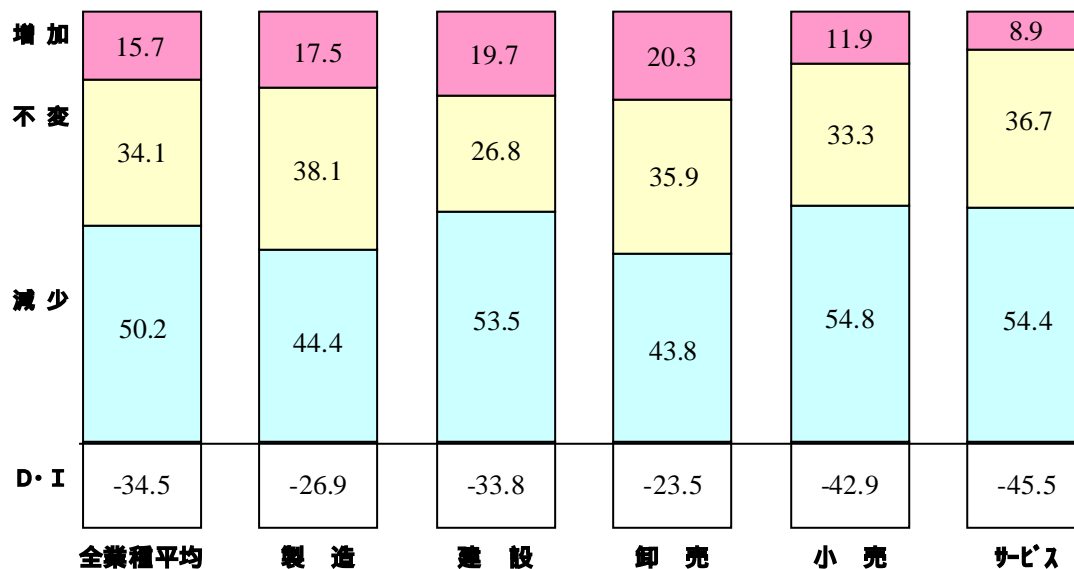
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 47.6 43.5〕、建設〔前回 53.5 52.7〕
卸売〔前回 31.9 34.3〕、小売〔前回 51.9 56.7〕
サービス〔前回 44.3 50.6〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した今期の売上高）



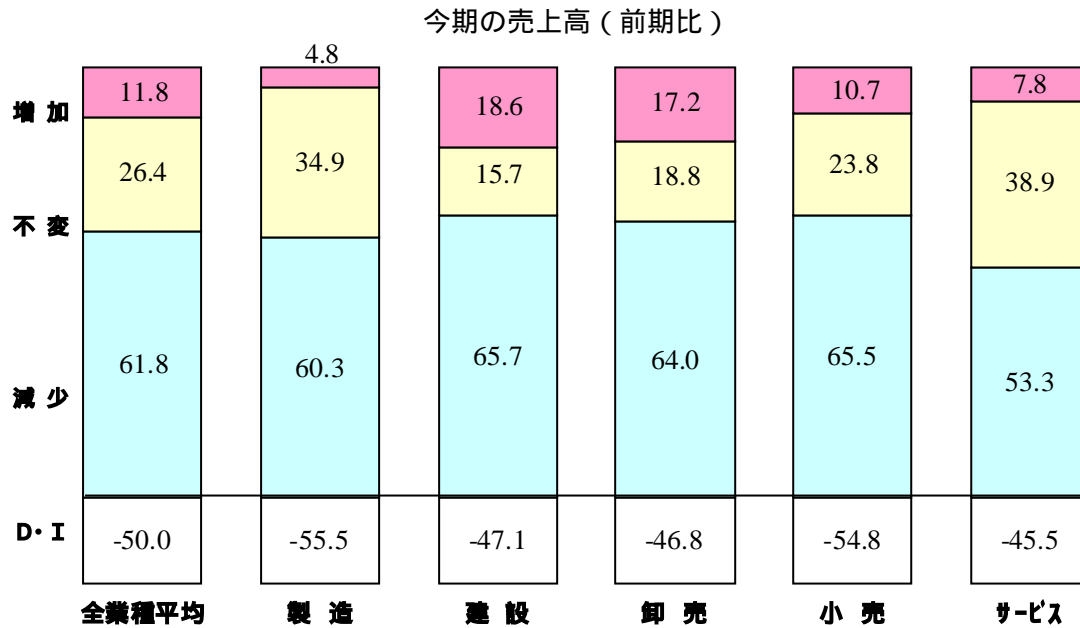
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **34.5**〔前回調査時（平成21年10～12月期 41.3）より6.8ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 45.2 26.9〕、建設〔前回 37.5 33.8〕
卸売〔前回 30.8 23.5〕、小売〔前回 44.7 42.9〕
サービス〔前回 48.3 45.5〕

【前期比】（平成21年10～12月期の水準と比較した今期の売上高）

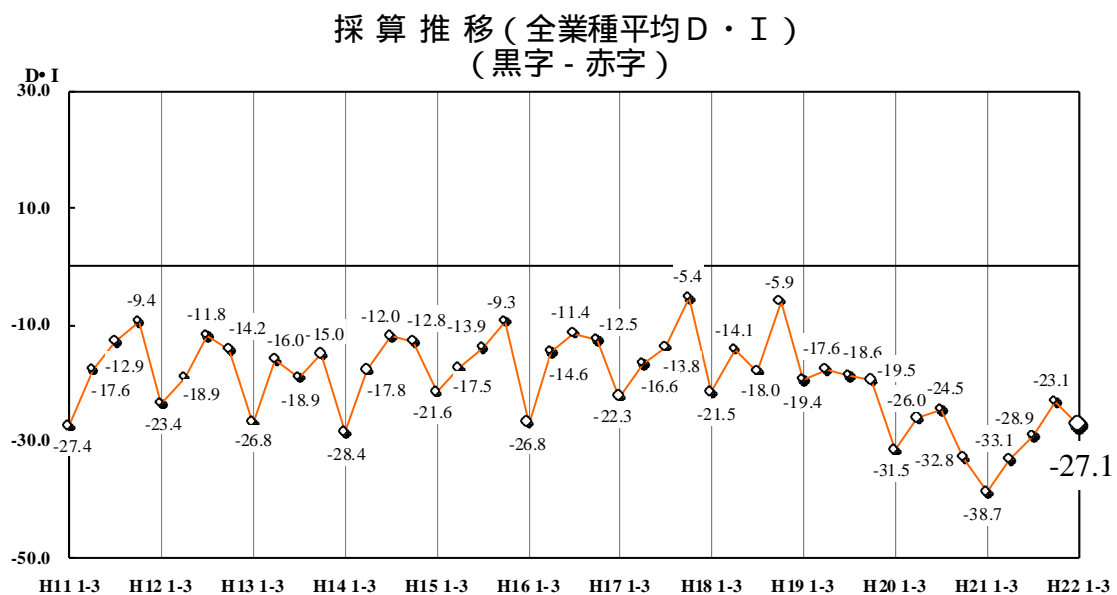


全業種平均でD・I値 **50.0**〔前回調査時（平成21年10～12月期 22.3）より27.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

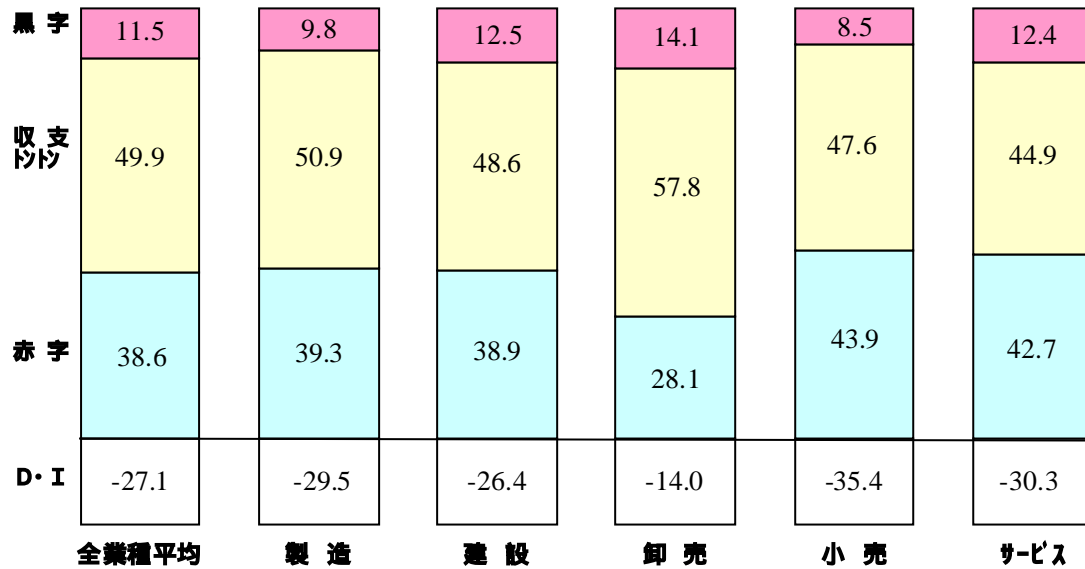
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 24.9 55.5〕、建設〔前回 19.8 47.1〕
 卸売〔前回 2.9 46.8〕、小売〔前回 30.1 54.8〕
 サービス〔前回 33.4 45.5〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】



今期の採算（今期の水準）

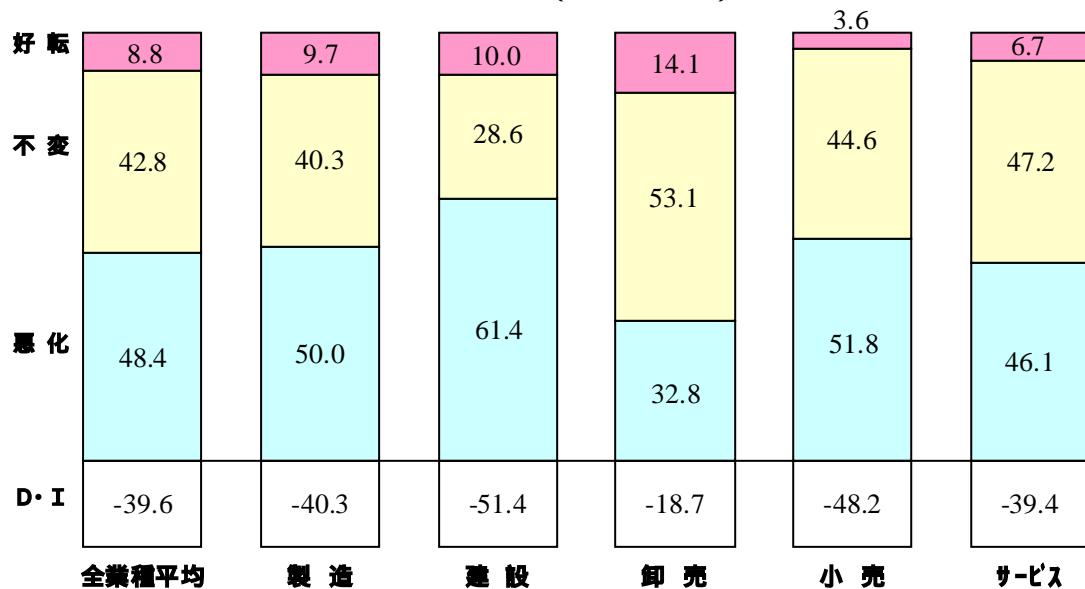


全業種平均でD・I値 **27.1**〔前回調査時（平成21年10～12月期 23.1）より4.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 24.6 29.5〕、建設〔前回 26.0 26.4〕
卸売〔前回 0.0 14.0〕、小売〔前回 39.8 35.4〕
サービス〔前回 25.3 30.3〕

【前年同期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

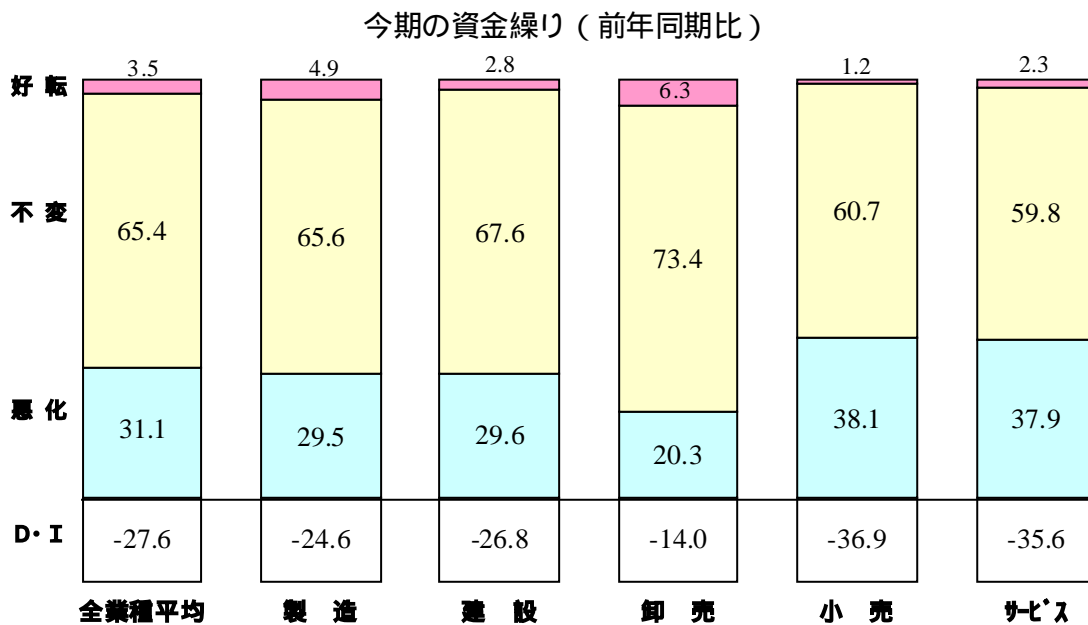
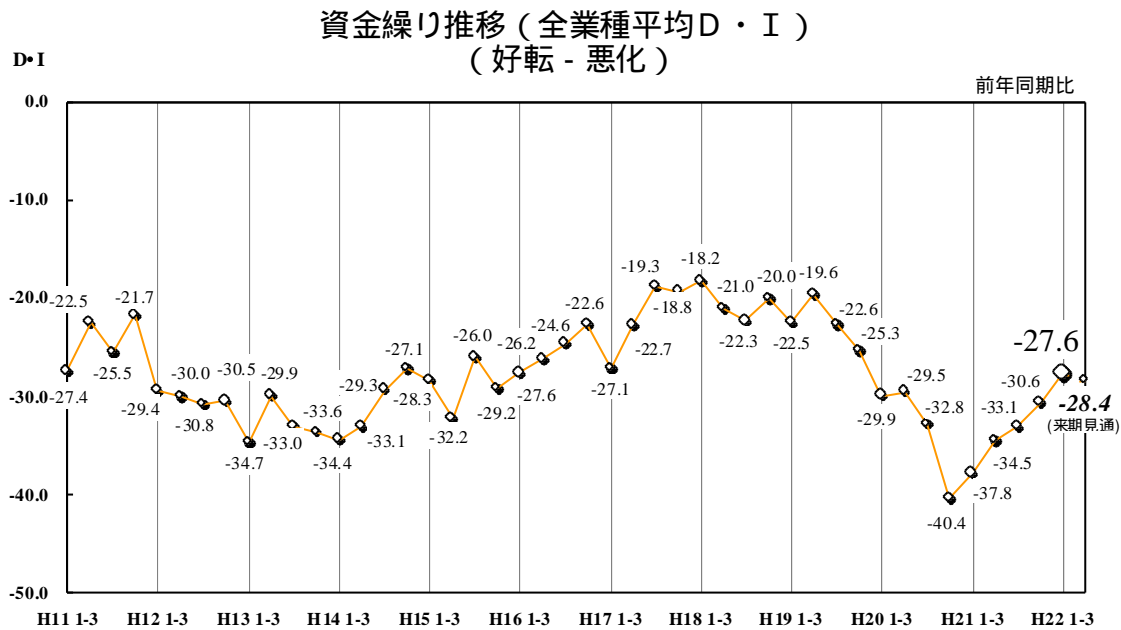


全業種平均でD・I値 **39.6**〔前回調査時（平成21年10～12月期 41.6）より2.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.7 40.3〕、建設〔前回 45.2 51.4〕
卸売〔前回 33.8 18.7〕、小売〔前回 52.4 48.2〕
サービス〔前回 37.8 39.4〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）



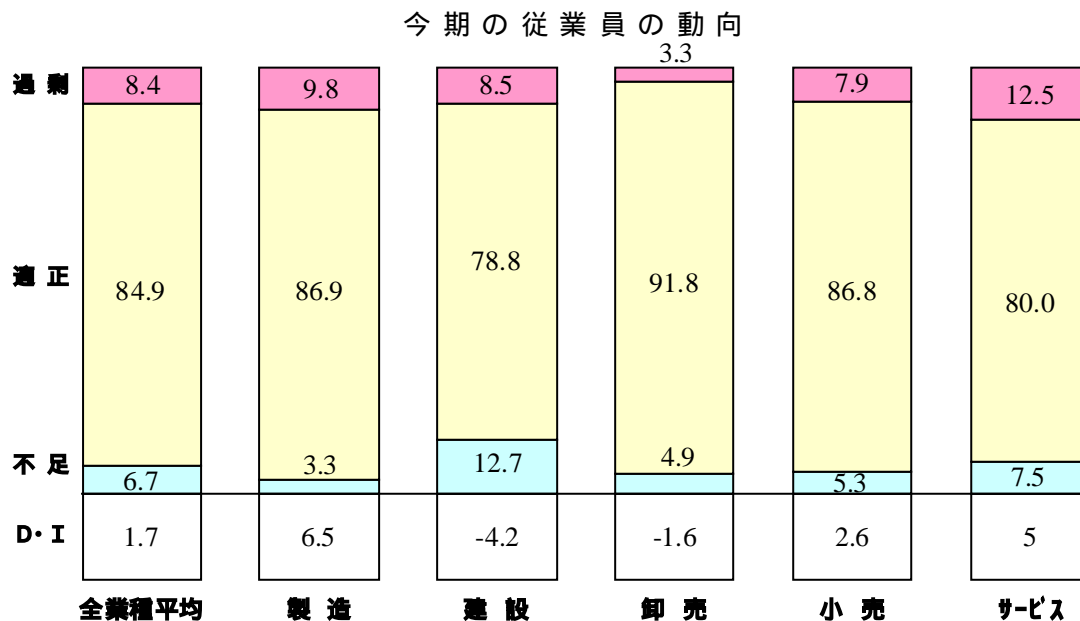
全業種平均でD・I値 **27.6**〔前回調査時（平成21年10～12月期 30.6）より3.0ポイントマイナス幅が縮小〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が若干縮小しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 37.7 24.6〕、建設〔前回 19.7 26.8〕
卸売〔前回 23.5 14.0〕、小売〔前回 39.0 36.9〕
サービス〔前回 33.0 35.6〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(44.0%)	[前回 51.7%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(16.9%)	[前回 12.5%]
	「製品ニーズの変化への対応」	(6.8%)	[前回 12.5%]
	「原材料価格の上昇」	(6.8%)	[前回 7.1%]
建設業	「官公需要の停滞」	(32.3%)	[前回 25.4%]
	「民間需要の停滞」	(26.1%)	[前回 23.9%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(20.3%)	[前回 31.1%]
卸売業	「需要の停滞」	(66.0%)	[前回 55.4%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(10.2%)	[前回 10.8%]
小売業	「需要の停滞」	(30.2%)	[前回 37.9%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(16.2%)	[前回 16.2%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(13.8%)	[前回 12.5%]
サービス業	「需要の停滞」	(49.8%)	[前回 39.4%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(10.7%)	[前回 14.9%]
	「大企業進出による競争の激化」	(8.3%)	[前回 9.2%]

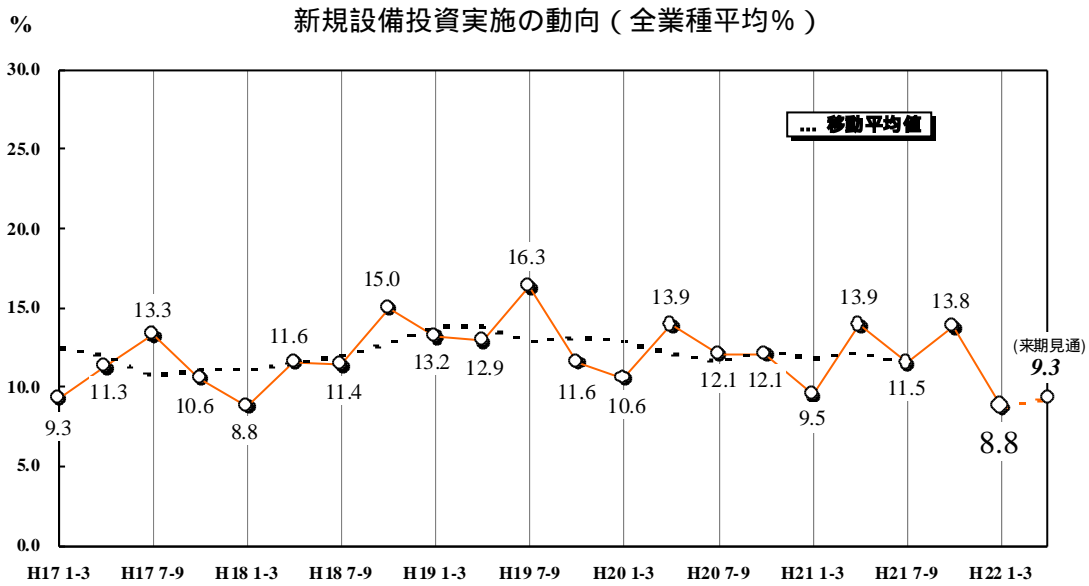
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 1.7〔前回調査時（平成21年10～12月期3.7）〕と、前回調査時に比べ「過剰」と回答する企業が増加しているが、依然「適正」（84.9%）とする企業が大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回14.8 6.5〕（適正86.9%）
 建設〔前回 2.8 4.2〕（適正78.8%）
 卸売〔前回 3.1 1.6〕（適正91.8%）
 小売〔前回 5.2 2.6〕（適正86.8%）
 サービス〔前回 1.3 5.0〕（適正80.0%）

(7) 今期の新規設備投資



（単位％）

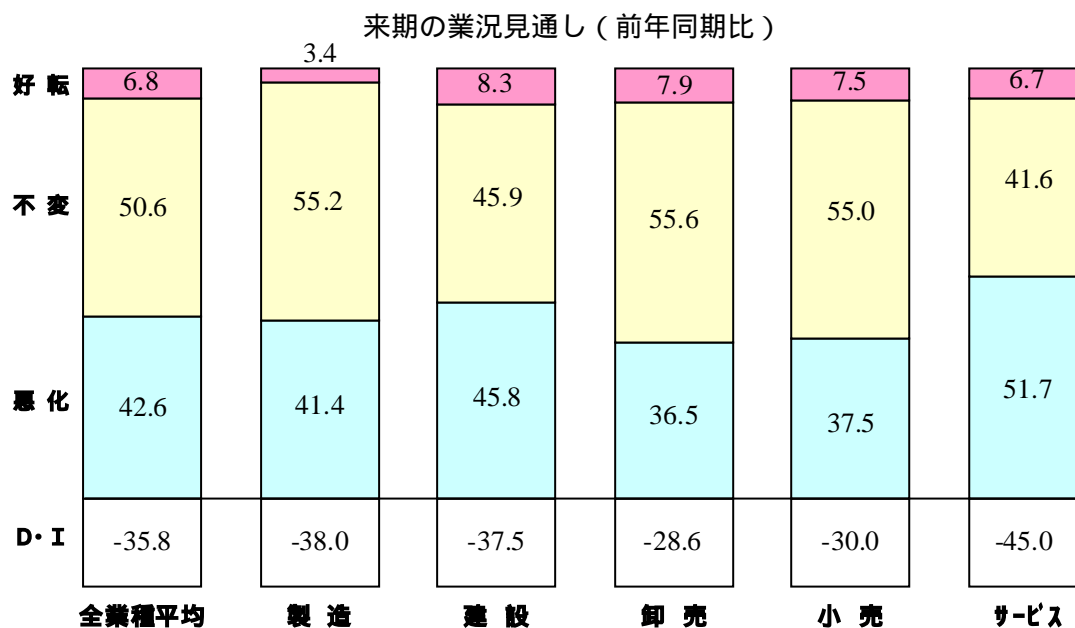
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	12.7	11.1	6.2	6.1	7.9	8.8
土地	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	5.0
工場建物、建物、店舗	12.5	0.0	0.0	40.0	0.0	10.5
生産・販売・サービス設備、建設機械	62.5	0.0	0.0	0.0	28.6	18.2
車両運搬具	25.0	25.0	75.0	0.0	14.3	27.9
倉庫・駐車場等の付帯施設	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	7.5
O A 機器	25.0	75.0	50.0	0.0	28.6	35.7
厚生施設	12.5	0.0	0.0	20.0	0.0	6.5
その他	25.0	0.0	0.0	60.0	42.9	25.6
実施しない	87.3	88.9	93.8	93.9	92.1	91.2

新たに設備投資を実施した企業は平均で8.8％〔前回調査時（平成21年10～12月期13.8％）〕、業種別では製造〔前回19.4％ 12.7％〕、建設〔前回12.3％ 11.1％〕、卸売〔前回11.8％ 6.2％〕、小売〔前回3.7％ 6.1％〕、サービス〔前回22.0％ 7.9％〕と、製造業、建設業、卸売業、サービス業について前回調査時の水準を下回った。

2. 来期の見通し

(1) 来期の業況

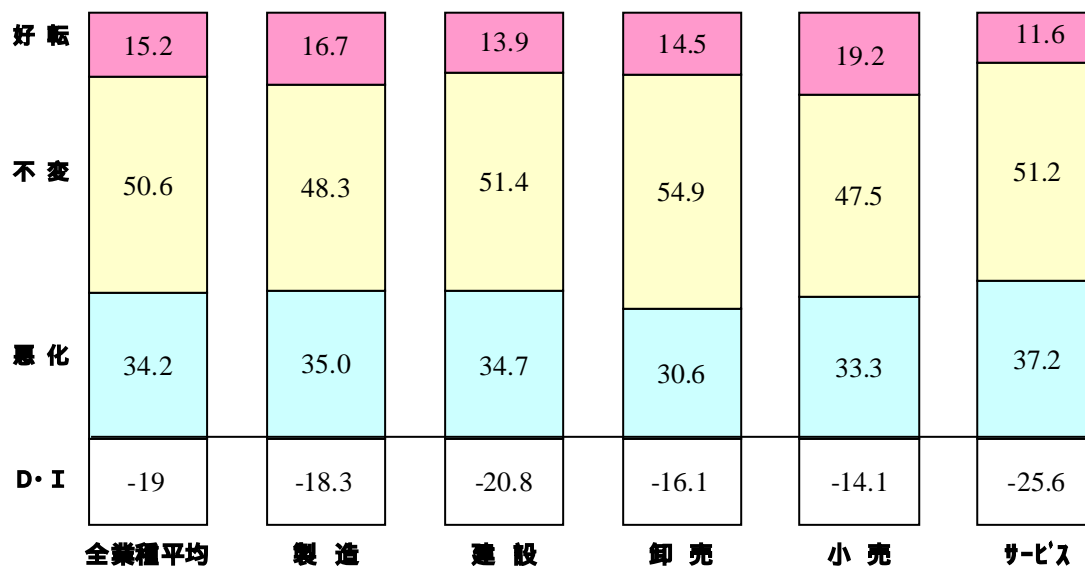
【前年同期比】（平成21年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **35.8**〔今期の業況（前年同期比 30.8）より5.0ポイントマイナス幅が拡大〕と、業況は依然低迷が続く。

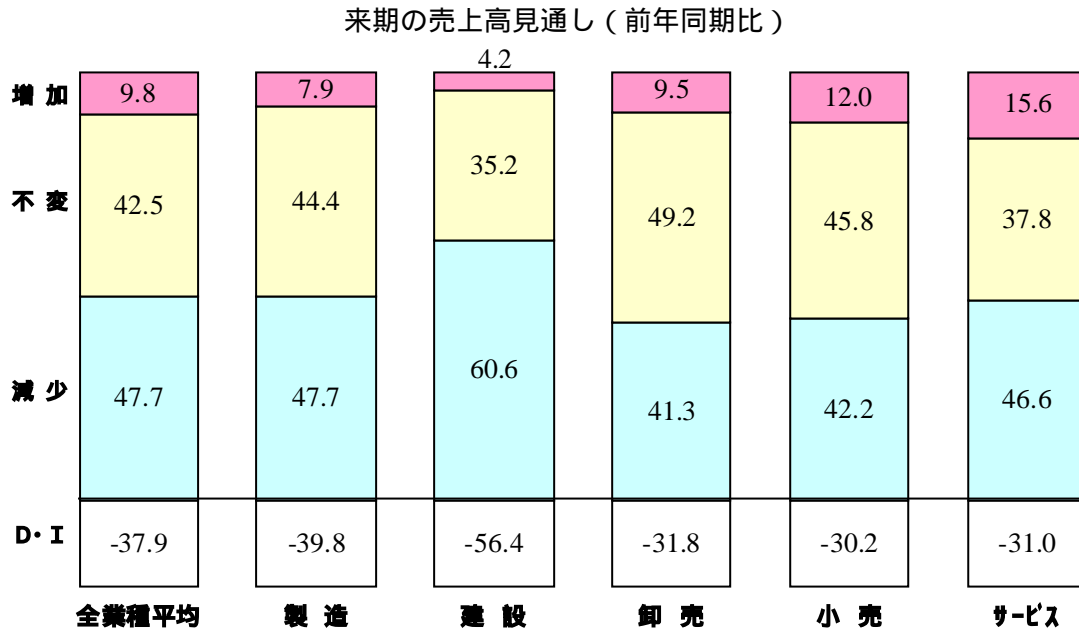
【今期比】（平成22年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の業況見通し（今期比）



(2) 来期の売上高

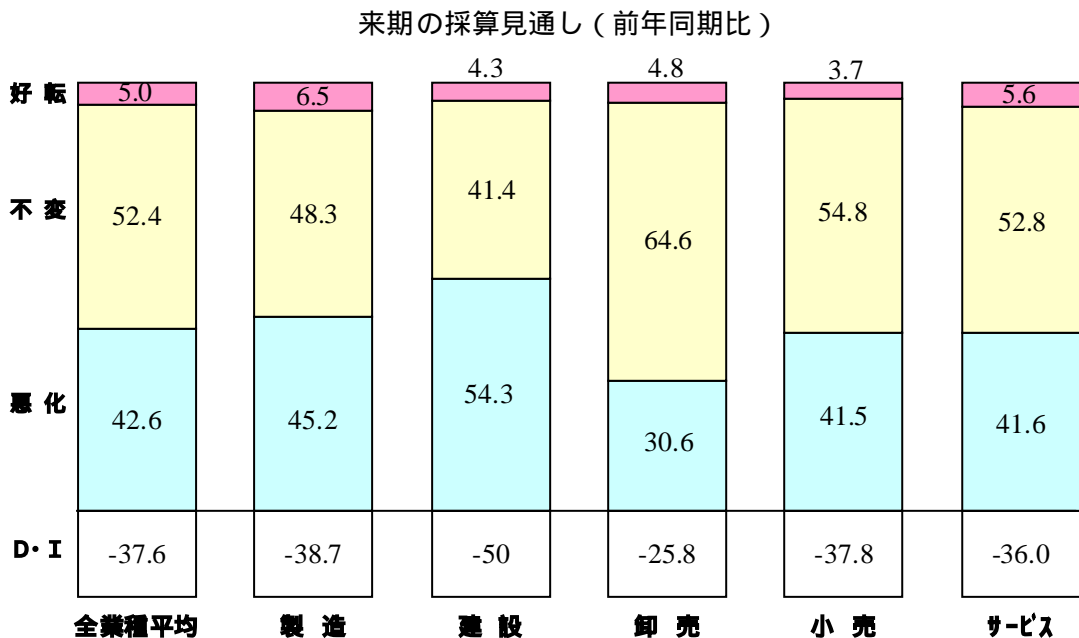
【前年同期比】（平成21年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **37.9**〔今期の売上高（前年同期比 34.5）より6.4ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成21年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **37.6**〔今期の採算（前年同期比 27.1）より10.5ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

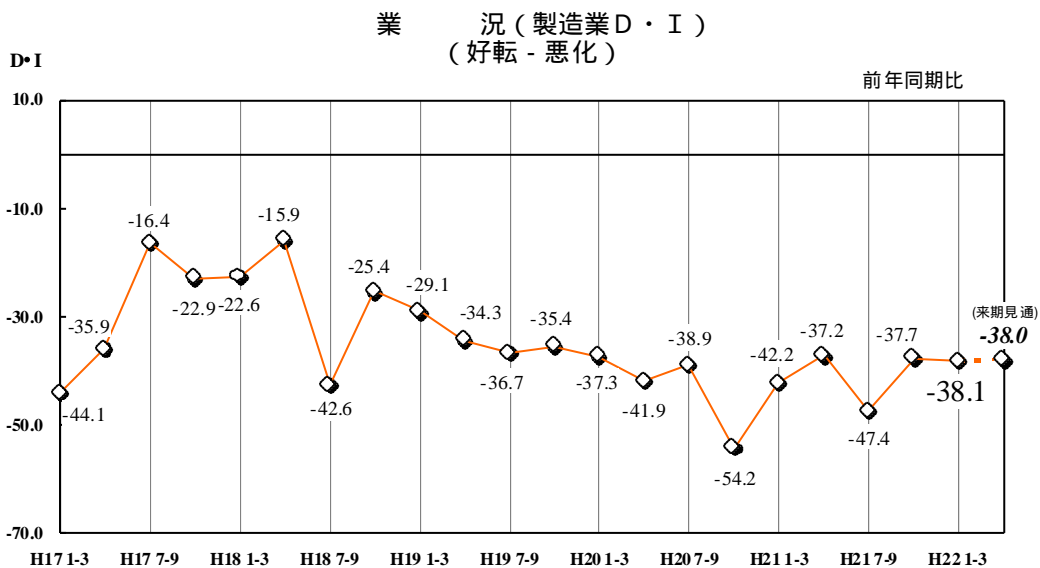
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	15.9	4.3	9.7	11.1	5.7	9.3
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
工場建物、建物、店舗	10.0	0.0	16.7	44.4	0.0	14.2
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	33.3	0.0	33.3	20.0	27.3
車両運搬具	20.0	66.7	33.3	22.2	20.0	32.4
倉庫・駐車場等の付帯施設	10.0	0.0	0.0	33.3	40.0	16.7
O A 機器	20.0	0.0	16.7	22.2	20.0	15.8
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10.0	0.0	33.3	22.2	0.0	13.1
実施しない	84.1	95.7	90.3	88.9	94.3	90.7

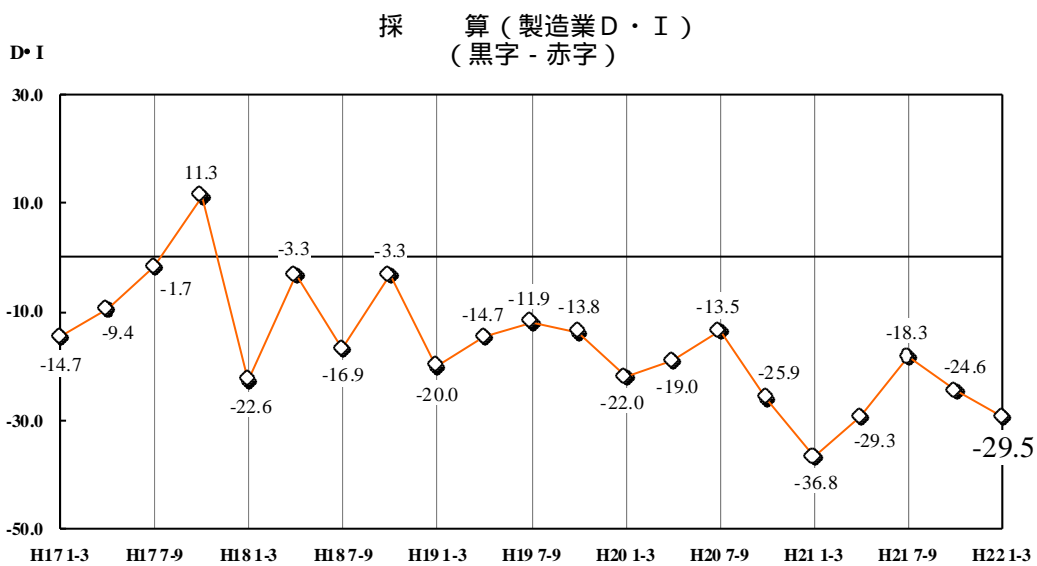
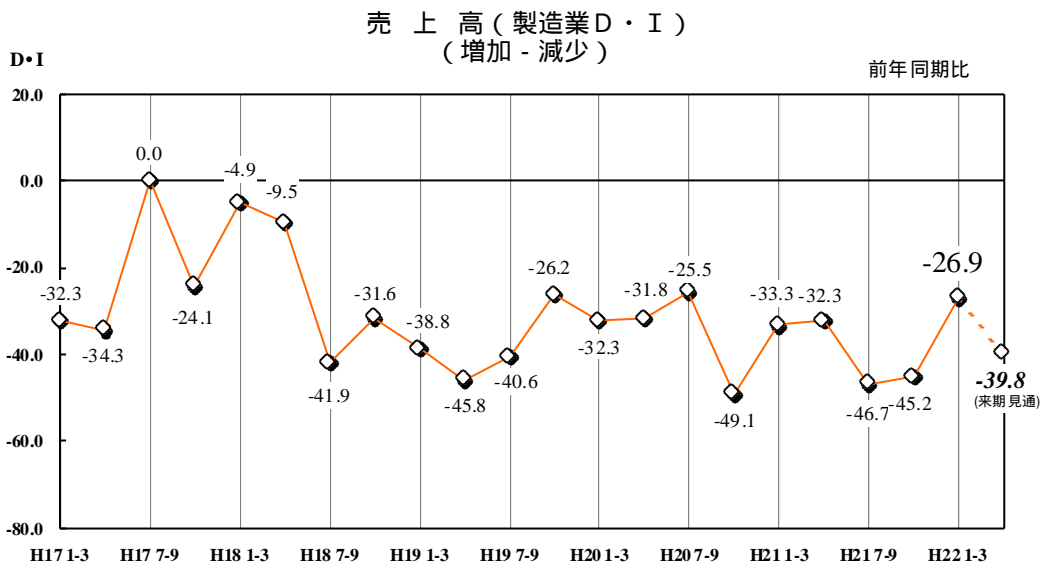
新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**9.3%**となっており、今期(8.8%)を上回る見通し。

業種別では、製造〔今期12.7% 15.9%〕、建設〔今期11.1% 4.3%〕、卸売〔今期6.2% 9.7%〕、小売〔今期6.1% 11.1%〕、サービス〔今期7.9% 5.7%〕となっている。

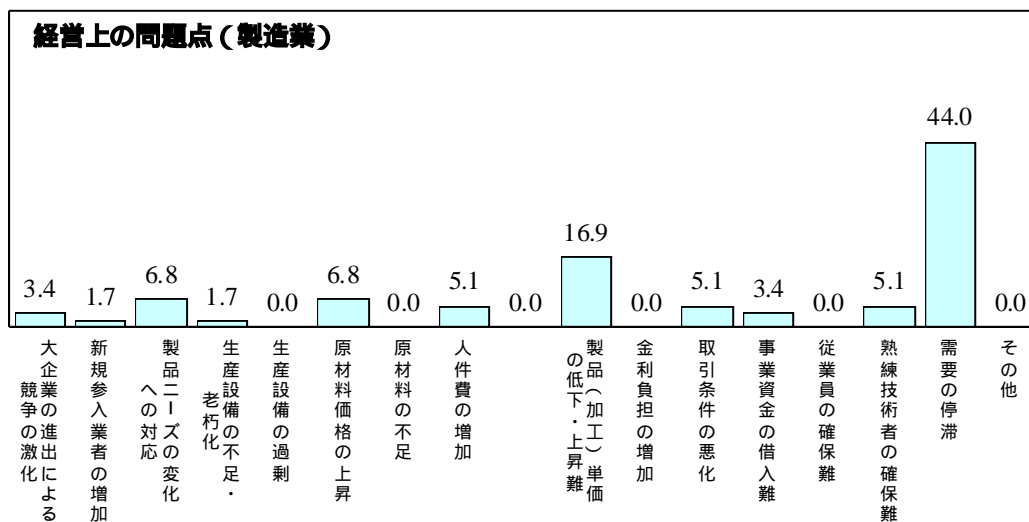
業種別の動向

(1) 製造業





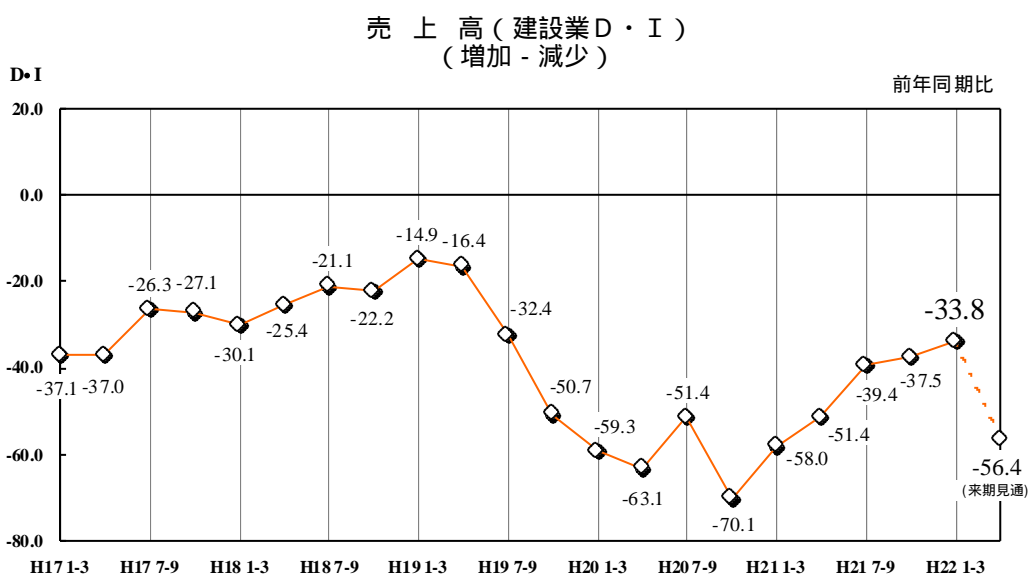
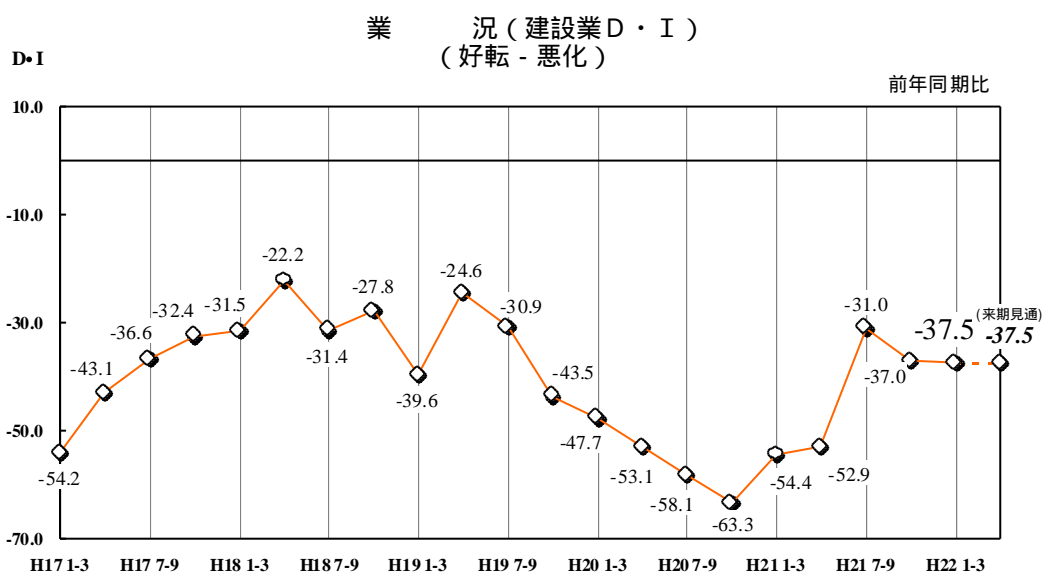
経営上の問題点



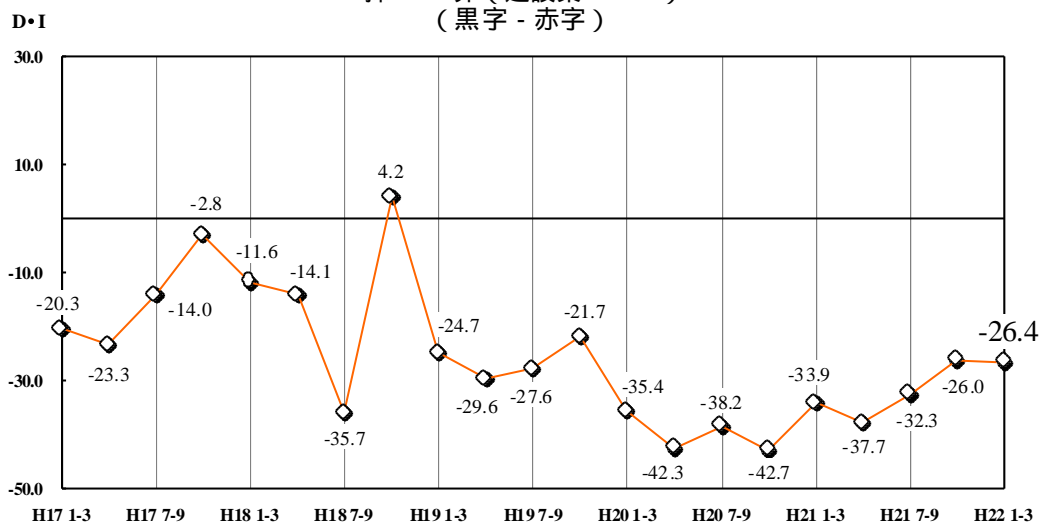
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	24.6	24.6	26.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	12.8	10.9 (今期比)
短期 〃	-----	7.7	5.8 (今期比)
設 備 操 業 率	26.3	-----	26.8 (前年同期比)

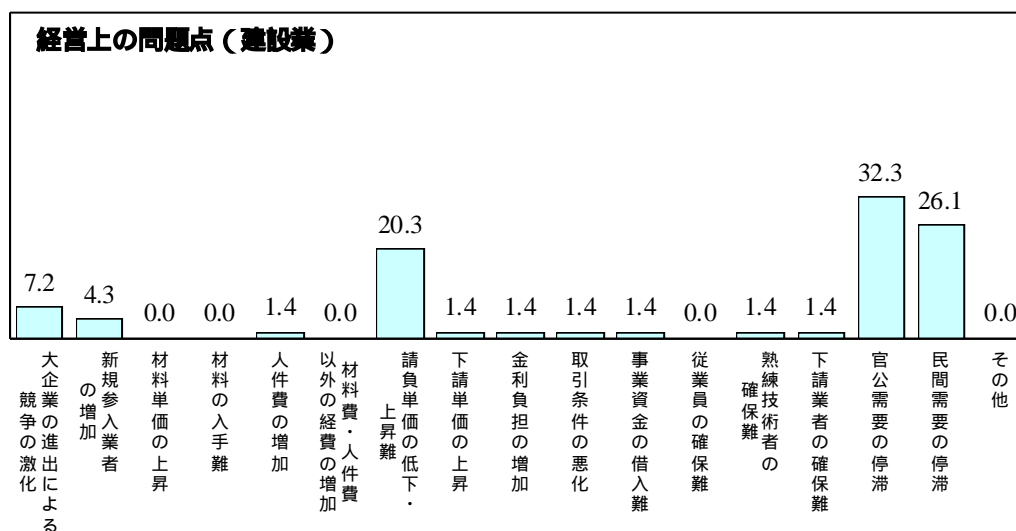
(2) 建 設 業



採 算 (建設業D・I)
(黒字 - 赤字)



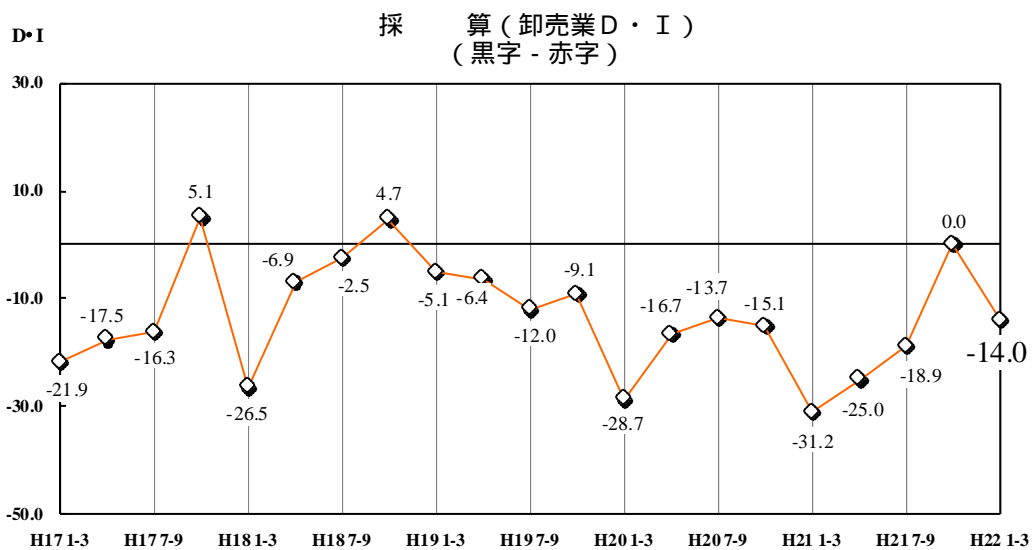
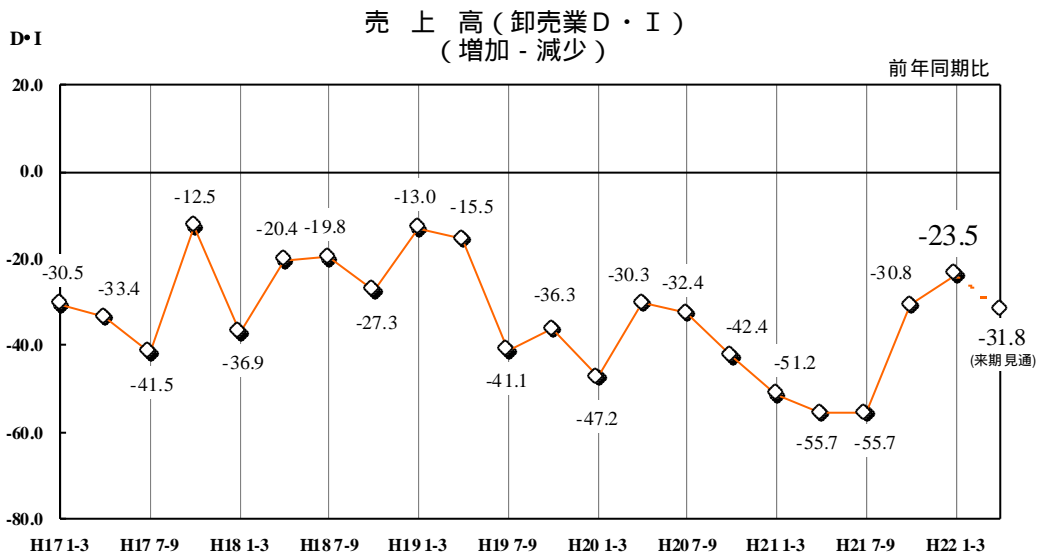
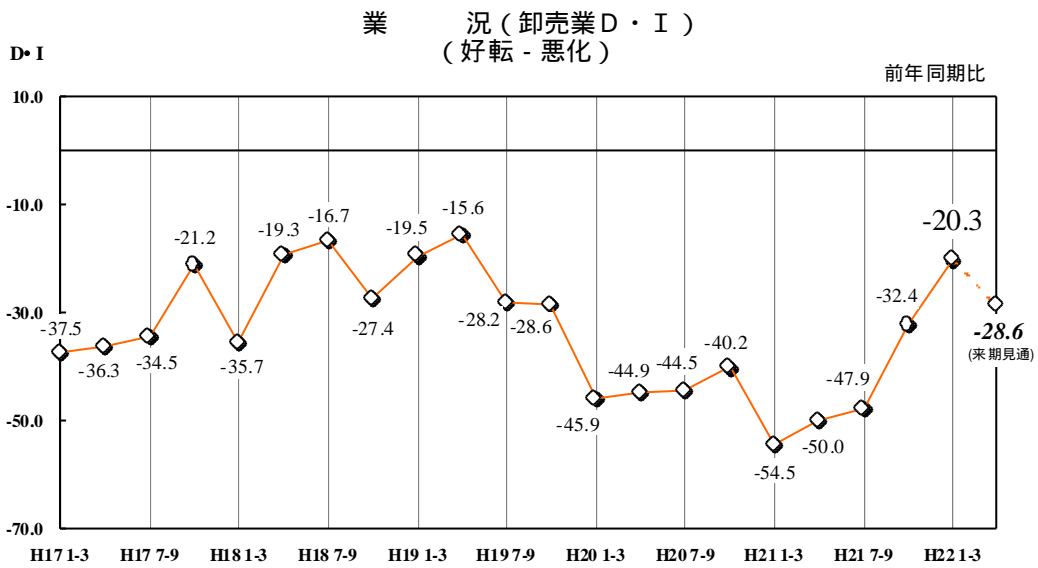
経営上の問題点



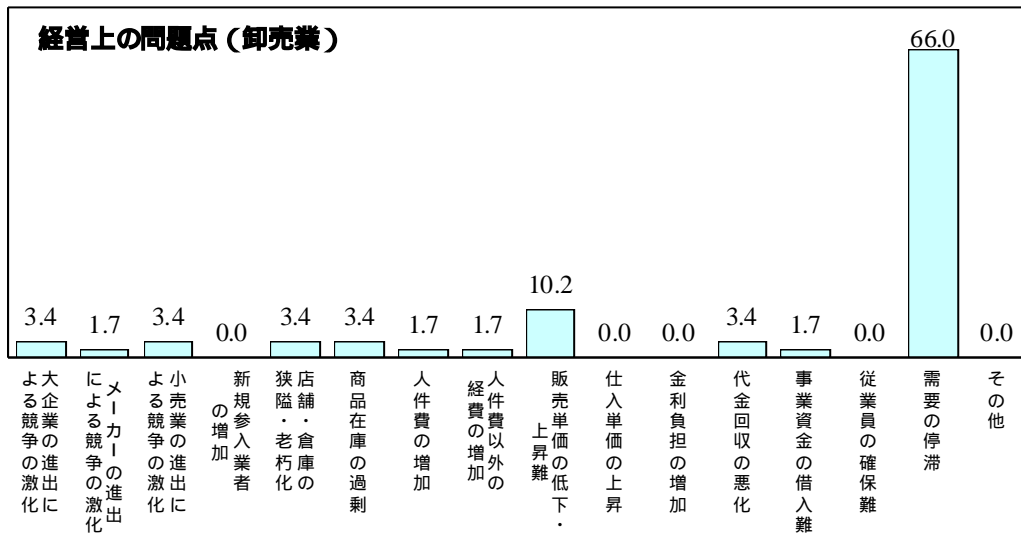
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	26.8	27.2	36.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	17.4	17.4 (今期比)
短期 "	-----	9.6	8.0 (今期比)
受注(新規契約工事)額	48.6	-----	57.0 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



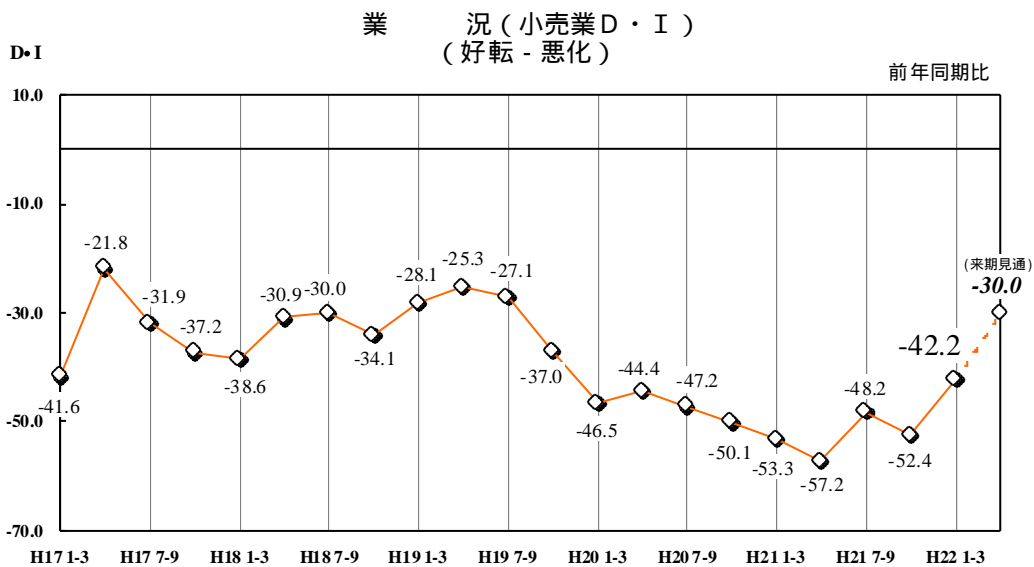
経営上の問題点

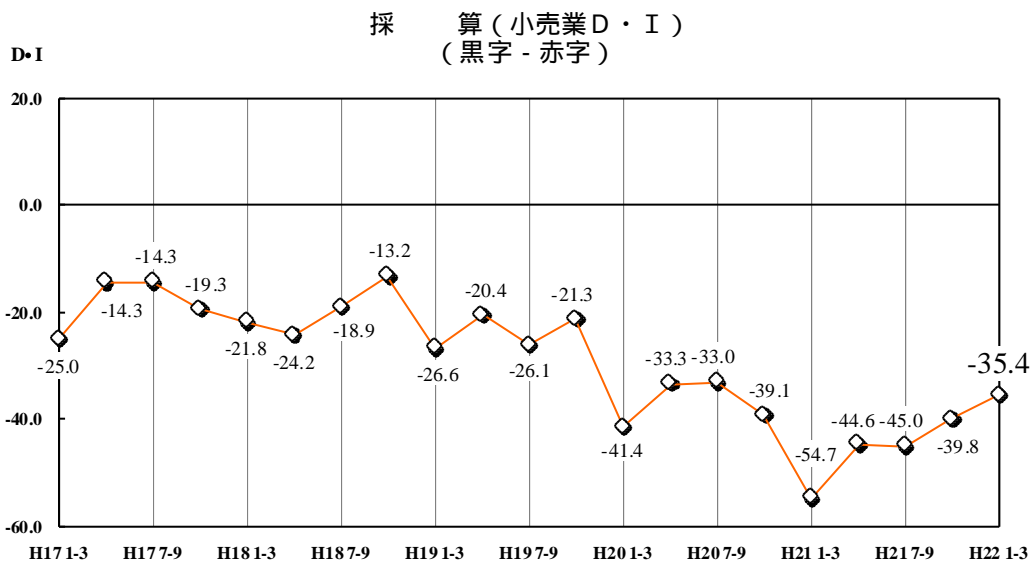
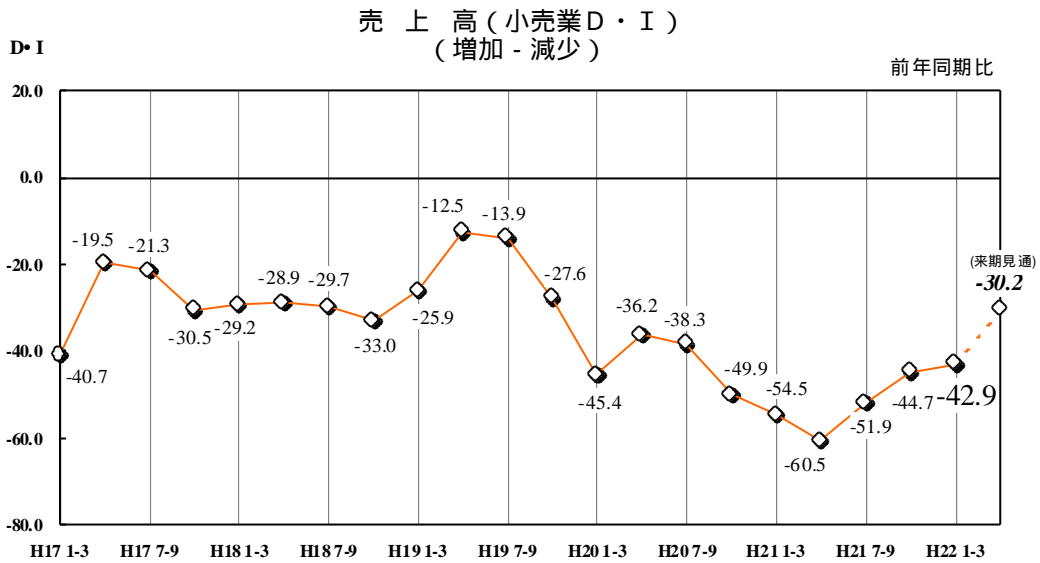


その他（D・I値）

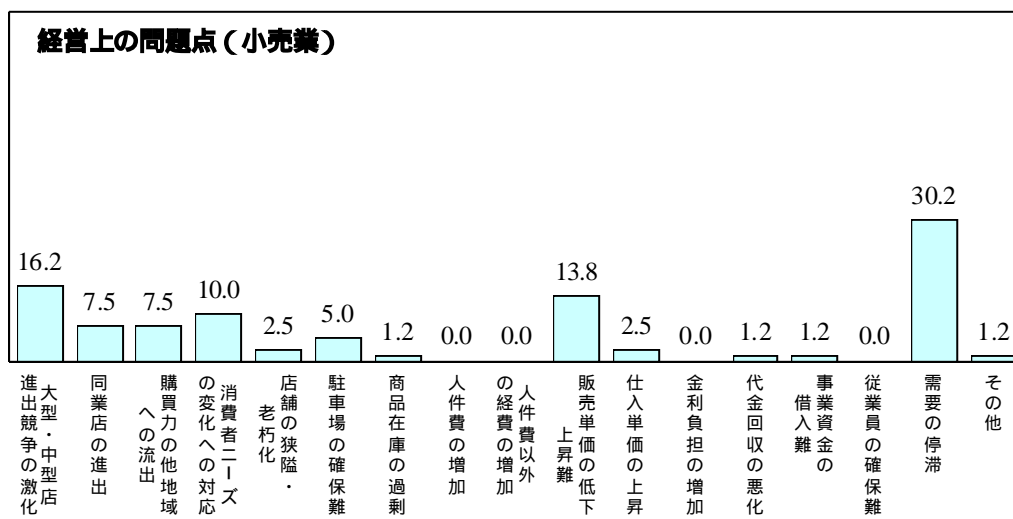
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	14.0	25.0	19.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	6.7	5.0 (今期比)
短期 "	-----	5.1	5.1 (今期比)
商品在庫数量	35.0	-----	32.8 (前年同期比)

(4) 小 売 業





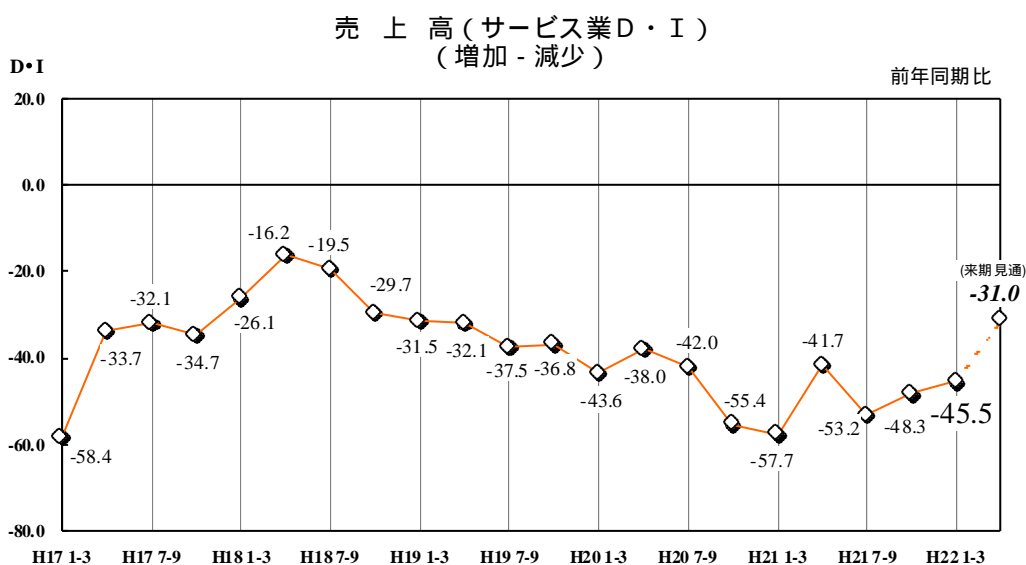
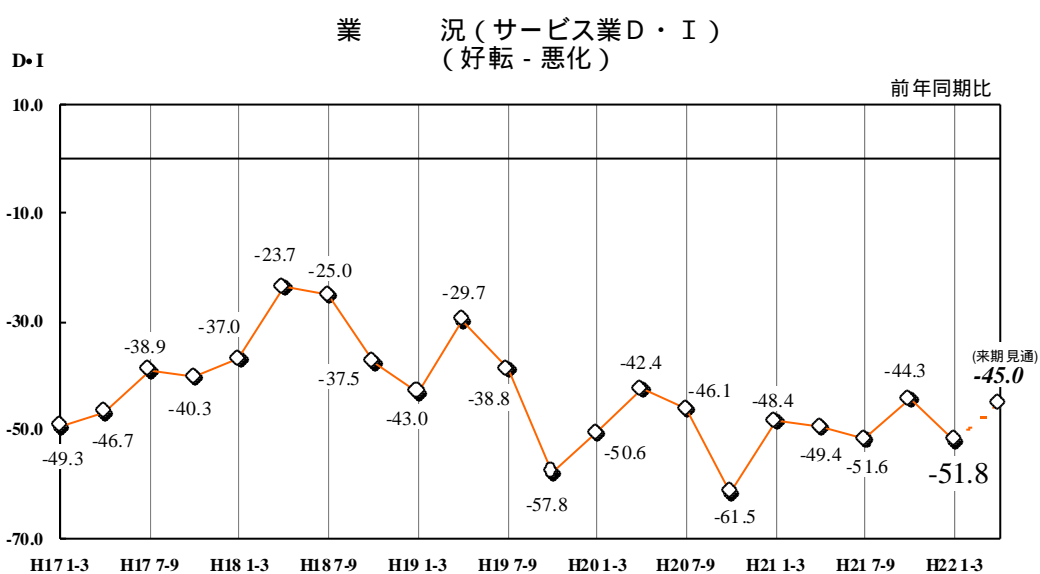
経営上の問題点

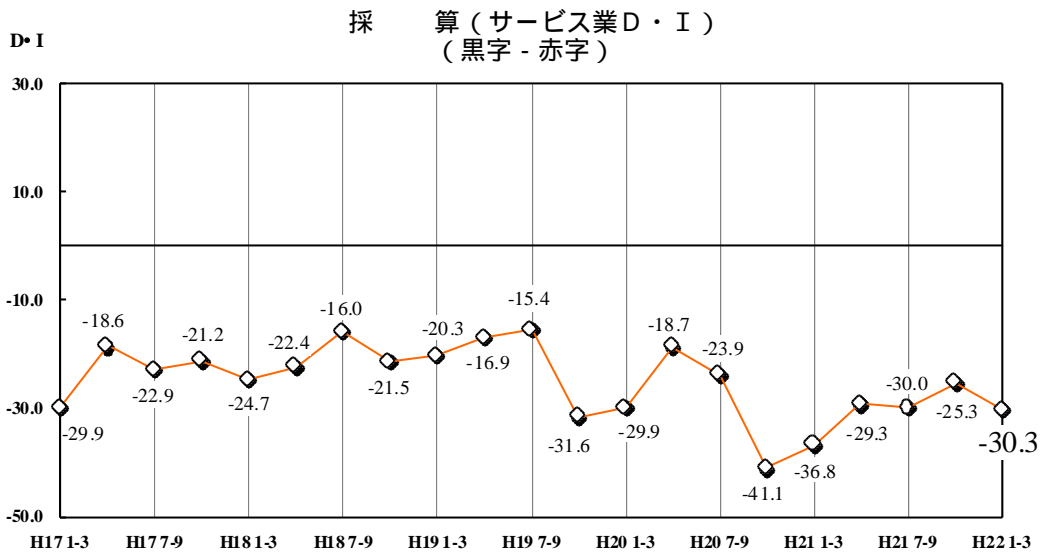


その他 (D・I値)

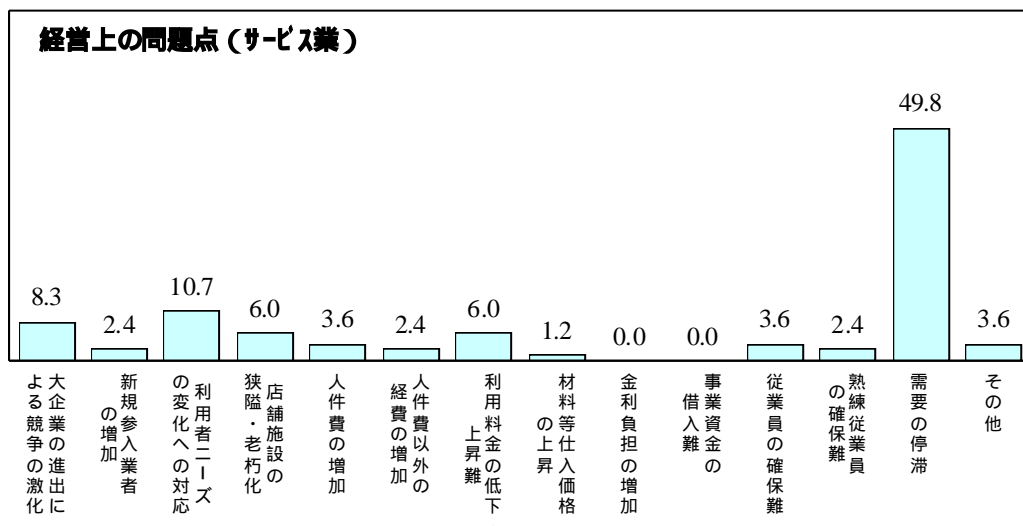
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	36.9	35.7	27.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	21.9	18.6 (今期比)
短期 "	-----	23.1	19.0 (今期比)
商品在庫数量	36.2	-----	28.9 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	35.6	39.5	32.2 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	27.2	20.2 (今期比)
短期 "	-----	18.0	18.6 (今期比)
利 用 客 数	47.0	52.4	30.9 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成22年1月～3月)の水準			
	今	期	前	D・I
業況(自社)	9.7	37.1	53.2	-43.5
生産に対する原材料在庫	0.0	94.9	5.1	-5.1
売上に対する製品在庫	1.8	92.9	5.3	-3.5
採算(経常利益)	9.8	50.9	39.3	-29.5
引合	7.1	51.8	41.1	-34.0
生産設備	13.1	82.0	4.9	8.2
従業員(含臨時・パート)	9.8	86.9	3.3	6.5

↗: 良い、過剰、黒字、活発
 -: ぶつう、適正、収支トントン
 ↘: 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成21年1月～3月)に比べて				前期(平成21年10月～12月)に比べて				前年同期(平成21年1月～3月)と比べた 来期(平成22年4月～6月)の見通し			
	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I
A 売上(加工)額	17.5	38.1	44.4	-26.9	4.8	34.9	60.3	-55.5	7.9	44.4	47.7	-39.8
B 売上(加工)単価	3.2	63.5	33.3	-30.1	0.0	69.8	30.2	-30.2	3.2	66.6	30.2	-27.0
C 売上(加工)数量	17.7	37.1	45.2	-27.5	3.2	43.5	53.3	-50.1	4.8	48.4	46.8	-42.0
D 資金繰り	4.9	65.6	29.5	-24.6	3.3	68.8	27.9	-24.6	5.0	63.3	31.7	-26.7
E 輸出額	12.5	75.0	12.5	0.0					18.2	72.7	9.1	9.1
F 原材料仕入単価	34.4	55.8	9.8	24.6					21.3	70.5	8.2	13.1
G 原材料在庫数量	3.6	64.3	32.1	-28.5					1.8	75.0	23.2	-21.4
H 製品在庫数量	0.0	65.4	34.6	-34.6					0.0	73.1	26.9	-26.9
I 採算(経常利益)	9.7	40.3	50.0	-40.3					6.5	48.3	45.2	-38.7
J 従業員(含臨時・パート)	6.6	70.4	23.0	-16.4					3.3	73.4	23.3	-20.0
K 外部人材(請負・派遣)	0.0	86.2	13.8	-13.8					0.0	86.7	13.3	-13.3
L 設備操業率	7.0	59.7	33.3	-26.3					1.8	69.6	28.6	-26.8
M 引合	12.1	50.0	37.9	-25.8								
N 受注残	3.9	54.9	41.2	-37.3								
	6.3	49.3	44.4	-38.1	0.0	51.6	48.4	-48.4	3.4	55.2	41.4	-38.0
O 業況(自社)	前年同期(平成21年1月～3月)に比べて				前期(平成21年10月～12月)に比べて				今期(平成22年1月～3月)と比べた 来期(平成22年4月～6月)の見通し			
P 受取手形期間					2.5	97.5	0.0	2.5	16.7	48.3	35.0	-18.3
Q 長期資金借入難度					3.6	80.0	16.4	-12.8	5.5	78.1	16.4	-10.9
R 短期資金借入難度(含手形割引)					1.9	88.5	9.6	-7.7	3.8	86.6	9.6	-5.8
S 借入金					1.8	87.3	10.9	-9.1	0.0	96.4	3.6	-3.6

↗: 増加 ↗: 上昇 ↗: 好転 ↗: 長期化 ↗: 容易
 -: 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) -: 不変(B, F, L, S) -: 不変(D, I, O) -: 不変(P) -: 不変(Q, R)
 ↘: 減少 ↘: 低下 ↘: 悪化 ↘: 短期化 ↘: 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	12.7	12.5	12.5	62.5	25.0	25.0	25.0	12.5	25.0	87.3
来期	15.9	0.0	10.0	50.0	20.0	10.0	20.0	0.0	10.0	84.1

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	3.4	10.2
新規参入業者の増加	1.7	5.1
製品ニーズの変化への対応	6.8	22.0
生産設備の不足・老朽化	1.7	16.9
生産設備の過剰	0.0	1.7
原材料価格の上昇	6.8	22.0
原材料の不足	0.0	1.7
人件費の増加	5.1	11.9
原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	8.5
製品(加工)単価の低下・上昇難	16.9	54.2
金利負担の増加	0.0	3.4
取引条件の悪化	5.1	20.3
事業資金の借入難	3.4	8.5
従業員の確保難	0.0	1.7
熟練技術者の確保難	5.1	8.5
需要の停滞	44.0	71.2
その他	0.0	0.0

2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成22年1月～3月)の水準			
	↑		↓	D・I
業況(自社)	5.6	36.1	58.3	-52.7
採算(経常利益)	12.5	48.6	38.9	-26.4
引合い	6.2	38.5	55.3	-49.1
従業員(含臨時・パート)	8.5	78.8	12.7	-4.2

↑：良い、過剰、黒字、活発
 -：ふつう、適正、収支トントン
 ↓：悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成21年1月～3月)に比べて				前期(平成21年10月～12月)に比べて				前年同期(平成21年1月～3月)と比べた 来期(平成22年4月～6月)の見通し			
	↑		↓	D・I	↑		↓	D・I	↑		↓	D・I
A 完成工事(請負工事)額	19.7	26.8	53.5	-33.8	18.6	15.7	65.7	-47.1	4.2	35.2	60.6	-56.4
B 資金繰り	2.8	67.6	29.6	-26.8	5.7	61.4	32.9	-27.2	1.4	60.6	38.0	-36.6
C 受注(新規契約工事)額	11.1	29.2	59.7	-48.6					6.9	29.2	63.9	-57.0
D 材料仕入単価	11.8	76.4	11.8	0.0					14.7	73.5	11.8	2.9
E 採算(経常利益)	10.0	28.6	61.4	-51.4					4.3	41.4	54.3	-50.0
F 従業員(含臨時・パート)	5.8	78.3	15.9	-10.1					1.4	81.2	17.4	-16.0
G 外部人材(請負・派遣)	6.5	69.3	24.2	-17.7					3.2	72.6	24.2	-21.0
H 引合い	8.1	43.5	48.4	-40.3								
I 契約残(未消化工事高)	12.1	31.8	56.1	-44.0								
J 業況(自社)	9.7	43.1	47.2	-37.5	7.0	43.7	49.3	-42.3	8.3	45.9	45.8	-37.5
K 受取手形期間					2.0	93.9	4.1	-2.1	13.9	51.4	34.7	-20.8
L 長期資金借入難度					3.2	76.2	20.6	-17.4	3.2	76.2	20.6	-17.4
M 短期資金借入難度(含手形割引)					6.5	77.4	16.1	-9.6	8.1	75.8	16.1	-8.0
N 借入金金利					10.8	84.6	4.6	6.2	9.2	87.7	3.1	6.1

↑：増加
 -：不変(A, C, F, G, H, I)
 ↓：減少
 ↑：上昇
 -：不変(D, N)
 ↓：低下
 ↑：好転
 -：不変(B, E, J)
 ↓：悪化
 ↑：長期化
 -：不変(K)
 ↓：短期化
 ↑：容易
 -：不変(L, M)
 ↓：困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	11.1	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	75.0	0.0	0.0	88.9
来期	4.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	95.7

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	7.2	15.9
新規参入業者の増加	4.3	13.0
材料単価の上昇	0.0	8.7
材料の入手難	0.0	0.0
人件費の増加	1.4	4.3
材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	1.4
請負単価の低下・上昇難	20.3	58.0
下請単価の上昇	1.4	2.9
金利負担の増加	1.4	8.7
取引条件の悪化	1.4	15.9
事業資金の借入難	1.4	8.7
従業員の確保難	0.0	0.0
熟練技術者の確保難	1.4	4.3
下請業者の確保難	1.4	4.3
官公需要の停滞	32.3	53.6
民間需要の停滞	26.1	65.2
その他	0.0	1.4

3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年 1月～3月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況(自 社)	14.1	37.5	48.4	-34.3
売 上 対 する 商 品 在 庫	15.6	78.1	6.3	9.3
採 算(経常利益)	14.1	57.8	28.1	-14.0
引 合	6.3	49.9	43.8	-37.5
従 業 員(含臨時・パート)	3.3	91.8	4.9	-1.6

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年 1月～3月)に比べて				前期(平成21年10月～12月)に比べて				前年同期(平成21年 1月～3月)と比べた 来 期(平成22年 4月～6月)の見通し			
	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I	今	期	前	D・I
A 売 上 額	20.3	35.9	43.8	-23.5	17.2	18.8	64.0	-46.8	9.5	49.2	41.3	-31.8
B 売 上 単 価	6.3	60.9	32.8	-26.5	3.1	67.2	29.7	-26.6	9.5	65.1	25.4	-15.9
C 資 金 繰 り	6.3	73.4	20.3	-14.0	1.6	71.8	26.6	-25.0	4.8	71.4	23.8	-19.0
D 商 品 仕 入 単 価	14.1	65.6	20.3	-6.2					16.1	72.6	11.3	4.8
E 商 品 仕 入 数 量	17.2	42.2	40.6	-23.4					8.1	54.8	37.1	-29.0
F 商 品 在 庫 数 量	6.3	52.4	41.3	-35.0					3.3	60.6	36.1	-32.8
G 採 算(経常利益)	14.1	53.1	32.8	-18.7					4.8	64.6	30.6	-25.8
H 従 業 員(含臨時・パート)	3.3	75.4	21.3	-18.0					3.4	81.3	15.3	-11.9
I 外 部 人 材(請負・派遣)	2.4	85.4	12.2	-9.8					2.5	87.5	10.0	-7.5
J 引 合	9.7	58.0	32.3	-22.6								
K 業 況(自 社)	15.6	48.5	35.9	-20.3	7.9	46.1	46.0	-38.1	7.9	55.6	36.5	-28.6
L 受 取 手 形 期 間									14.5	54.9	30.6	-16.1
M 長 期 資 金 借 入 難 度					6.1	93.9	0.0	6.1	4.1	95.9	0.0	4.1
N 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					8.3	76.7	15.0	-6.7	5.0	85.0	10.0	-5.0
O 借 入 金 利					6.8	81.3	11.9	-5.1	5.1	84.7	10.2	-5.1

↗ : 増加
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(B, D, O)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(C, G, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変(L)
 ↘ : 困難(M, N)

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	倉 庫	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	6.2	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	93.8
来 期	9.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	33.3	90.3

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	3.4	11.9
メーカーの進出による競争の激化	1.7	8.5
小売業の進出による競争の激化	3.4	6.8
新規参入業者の増加	0.0	6.8
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3.4	6.8
商品在庫の過剰	3.4	11.9
人件費の増加	1.7	3.4
人件費以外の経費の増加	1.7	10.2
販売単価の低下・上昇難	10.2	47.5
仕入単価の上昇	0.0	5.1
金利負担の増加	0.0	1.7
代金回収の悪化	3.4	18.6
事業資金の借入難	1.7	13.6
従業員の確保難	0.0	1.7
需要の停滞	66.0	83.1
そ の 他	0.0	0.0

4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年 1月～3月)の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業 況 (自 社)	8.4	26.5	65.1	-56.7
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	14.6	64.7	20.7	-6.1
採 算 (経 常 利 益)	8.5	47.6	43.9	-35.4
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	7.9	86.8	5.3	2.6

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 ↘ : ふつう、適正、収支トントン
 ↔ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年 1月～3月)に比べて				前期(平成21年10月～12月)に比べて				前年同期(平成21年 1月～3月)と比べた 来 期(平成22年 4月～6月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上 額	11.9	33.3	54.8	-42.9	10.7	23.8	65.5	-54.8	12.0	45.8	42.2	-30.2
B 客 単 価	9.5	40.5	50.0	-40.5	6.0	42.9	51.1	-45.1	6.0	48.2	45.8	-39.8
C 客 数	10.8	33.7	55.5	-44.7	8.4	24.1	67.5	-59.1	12.2	39.0	48.8	-36.6
D 資 金 繰 り	1.2	60.7	38.1	-36.9	1.2	61.9	36.9	-35.7	2.4	67.5	30.1	-27.7
E 商 品 仕 入 単 価	14.5	63.8	21.7	-7.2					7.3	70.7	22.0	-14.7
F 商 品 仕 入 額	12.0	45.8	42.2	-30.2					7.3	52.5	40.2	-32.9
G 商 品 在 庫 数 量	4.8	54.2	41.0	-36.2					4.8	61.5	33.7	-28.9
H 採 算 (経 常 利 益)	3.6	44.6	51.8	-48.2					3.7	54.8	41.5	-37.8
I 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	1.3	88.2	10.5	-9.2					2.7	90.6	6.7	-4.0
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	2.2	93.4	4.4	-2.2					2.2	91.1	6.7	-4.5
	9.6	38.6	51.8	-42.2	6.1	39.0	54.9	-48.8	7.5	55.0	37.5	-30.0
K 業 況 (自 社)	前年同期(平成21年 1月～3月)に比べて				前期(平成21年10月～12月)に比べて				今 期(平成22年 1月～3月)と比べた 来 期(平成22年 4月～6月)の見通し			
									19.2	47.5	33.3	-14.1
L 長 期 資 金 借 入 難 度					0.0	78.1	21.9	-21.9	0.0	81.4	18.6	-18.6
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					0.0	76.9	23.1	-23.1	0.0	81.0	19.0	-19.0
N 借 入 金 利					8.6	87.1	4.3	4.3	5.8	88.4	5.8	0.0

↗ : 増加
 ↘ : 減少
 ↔ : 減少
 ↗ : 上昇
 ↘ : 低下
 ↔ : 低下
 ↗ : 好転
 ↘ : 悪化
 ↔ : 悪化
 ↗ : 容易
 ↘ : 困難
 ↔ : 容易
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 している								実施・計画 していない
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	6.1	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	93.9
来 期	11.1	0.0	44.4	33.3	22.2	33.3	22.2	0.0	22.2	88.9

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3 位
大・中型店の進出による競争の激化	16.2	31.2
同業者の進出	7.5	12.5
購買力の他地域への流出	7.5	23.8
消費者ニーズの変化への対応	10.0	31.2
店舗の狭隘・老朽化	2.5	7.5
駐車場の確保難	5.0	6.2
商品在庫の過剰	1.2	7.5
人件費の増加	0.0	8.8
人件費以外の経費の増加	0.0	5.0
販売単価の低下・上昇難	13.8	40.0
仕入単価の上昇	2.5	6.2
金利負担の増加	0.0	2.5
代金回収の悪化	1.2	5.0
事業資金の借入難	1.2	11.2
従業員の確保難	0.0	1.2
需要の停滞	30.2	65.0
その他	1.2	3.8

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成22年 1月～3月)の水準				D・I
	今	期	前	期	
業 況 (自 社)	4.5	40.4	55.1	-50.6	
採 算 (経常利益)	12.4	44.9	42.7	-30.3	
従 業 員 (含臨時・パート)	12.5	80.0	7.5	5.0	

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成21年 1月～3月)に比べて				前期(平成21年10月～12月)に比べて				前年同期(平成21年 1月～3月)と比べた 来 期(平成22年 4月～6月)の見通し			
	前	年	同	期	前	期	前	期	前	年	同	期
A 売上 (収入) 額	8.9	36.7	54.4	-45.5	7.8	38.9	53.3	-45.5	15.6	37.8	46.6	-31.0
B 客 単 価	0.0	60.5	39.5	-39.5	0.0	60.5	39.5	-39.5	1.2	61.6	37.2	-36.0
C 利 用 客 数	6.0	41.0	53.0	-47.0	1.2	45.2	53.6	-52.4	13.1	42.9	44.0	-30.9
D 資 金 繰 り	2.3	59.8	37.9	-36.6	1.2	58.1	40.7	-39.5	5.7	56.4	37.9	-32.2
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	14.8	70.4	14.8	0.0					12.3	72.9	14.8	-2.5
F 採 算 (経常利益)	6.7	47.2	46.1	-39.4					5.6	52.8	41.6	-36.0
G 従 業 員 (含臨時・パート)	1.2	76.6	22.2	-21.0					1.2	84.0	14.8	-13.6
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	3.7	81.5	14.8	-11.1					5.6	83.3	11.1	-5.5
I 業 況 (自 社)	2.2	43.8	54.0	-51.8	2.2	43.8	54.0	-51.8	6.7	41.6	51.7	-45.0
L 長 期 資 金 借 入 難 度					4.9	63.0	32.1	-27.2	5.1	69.6	25.3	-20.2
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含手形割引)					5.6	70.8	23.6	-18.0	5.7	70.0	24.3	-18.6
N 借 入 金 利					2.6	81.6	15.8	-13.2	1.3	85.5	13.2	-11.9

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, G, H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, F, I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	建 物	サービス設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	7.9	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	42.9	92.1
来 期	5.7	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	94.3

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	8.3	15.5
新規参入業者の増加	2.4	21.4
利用者ニーズの変化への対応	10.7	36.9
店舗施設の狭隘・老朽化	6.0	9.5
人件費の増加	3.6	15.5
人件費以外の経費の増加	2.4	10.7
利用料金の低下・上昇難	6.0	27.4
材料等仕入単価の上昇	1.2	10.7
金利負担の増加	0.0	3.6
事業資金の借入難	0.0	11.9
従業員確保難	3.6	9.5
熟練従業員確保難	2.4	13.1
需要の停滞	49.8	71.4
その他	3.6	7.1